

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール
-------------------	----------------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	2	消防・救急救助体制の充実
小分類	2	消防力の強化・高度化
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化
事務事業番号	009	事務事業コード 23221009 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	はしご付消防ポンプ自動車整備費
------	------	------------	-----------------

部 名	消防本部	グループ名	総務 G
-----	------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p>(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください)</p> <p>はしご付消防ポンプ自動車</p>
手段 (事業の内容・活動)	<p>(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください)</p> <p>平成 9 年度に購入した、はしご付消防ポンプ自動車(消防署配置)は機械構造が精密かつ複雑で、安全性と確実性が強く求められる消防車両で、長時間にわたっての機能性及び安全性の維持が特に要求されるもので、すでに 7 年以上を経過していることからオーバーホールを実施し、災害等の円滑な業務遂行を図る。</p>
目指す姿 (成果)	<p>(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください)</p> <p>はしご装置の安全性や機能維持及び人命にかかわる事態の発生を未然に防ぎ耐用年数が延長される。</p>
根拠法令等	<p>(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)</p> <p>平成 1 5 年 3 月「消防自動車のオーバーホール標準実施基準」指針(総務省消防庁) 運用開始からおおむね 7 年目・株式会社モリタテクノス整備標準基準(製造元)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	はしご自動車オーバーホール	台	目標値	1				
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 北海道市町村備荒資金	千円	16,695					0
	一般財源	名称	千円	9,375					0
合 計				26,070	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	331	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		331	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 中高層建築における火災等からの、人命救助及び消火活動を目的とした、重要な車両であり、妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ オーバーホールを行い市民及び消防隊員の安全確保と円滑な消防活動を図る。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 高所での消火、人命救助活動を行う上で、特に安全性を求められる消防車両であり、消防隊員と要救助者の安全保護の面から、万全を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 平成21年度で事業終了。

担当グループによる評価

終了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	整備計画に基づきオーバーホールをした。
----	----------------------	---------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）